

ミカツキグサ

学名 *Rhynchospora alba* (L.) Vahl

目名

目名学名

科名 カヤツリグサ科

科名学名 Cyperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

北方寒冷地要素の植物で、隔離分布し、九州は分布の南限域にあたる。泥炭湿原の過湿地に生育しているが、湿原内の生育地は水の供給が悪くなって乾燥化し、生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道,本州,九州(福岡・大分・宮崎)
世界的分布	欧亜,北米(北東部)
生育環境	低山地の湿地。
現状	湿原内の水溝に沿って群生しているが、もともと湿原の凹地(シュレンケ)に生える植物で、その生育地は湿原の上辺からの水の供給が中断され、乾燥化して生育状態が悪化している。
備考	北方寒冷地要素の植物。九州は分布の南限地にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう,瀬戸内海]